

書き方メモ(日本郵便のサイトの説明より)

1. 何を書くか:故人への思い、感謝、悲しみを自分の言葉で表すよう、日本郵便は弔電のマナーの中で案内しています。
2. 忌み言葉:「死ぬ」「死亡」「逝去」「永眠」「他界」などに言い換えます。「度々」「重ね重ね」「再び」、「四」「九」、「とんでもない」なども避けるよう案内されています。
3. 重ね言葉:「ますます」「くれぐれも」などは、不幸が重なることを連想させるため控えるとされています。
4. 宗教による違い:「冥福を祈る」「成仏」「往生」「弔う」などは仏式で使われ、神道やキリスト教では使われません。仏式とわからないときは使わないように。この文例集では、既定の文面にこれらの語を使っていません。
5. 手紙の書き出し:日本郵便のお手紙文例集のお悔やみの手紙は、頭語(拝啓など)や時候の挨拶を置かず、お悔やみの言葉から書き出しています。この文例集も同じ形です。
6. 寄り添う言葉:「頑張って」「元気を出して」のような言葉より、体を気遣う言葉や故人の思い出を共有する言葉を、と説明されています(喪中見舞いの言葉選びとして)。
7. 香典を郵送する:香典は参列する知人・友人に託すか、手紙を添えて現金書留で送るよう案内されています。現金書留には手紙を同封できます。
8. 弔電:通夜の前日か当日午前中に届くように、喪主あてに送ります。喪主がわからない場合は「故〇〇様ご遺族様」とします。

出典:日本郵便 お手紙文例集(死亡・葬儀/慰め・励まし)・手紙の基本形式、日本郵便 Webレタックス「弔電・弔事のマナー(お悔やみ)Q&A」ほか弔電の案内、日本郵便 よくあるご質問(現金書留)、郵便局のネットショップ・郵便局のプリントサービス(いずれも日本郵便株式会社運営)のコラム。いずれも2026年10月2日確認。URLは4ページ目に掲載しています。決まった形式があるわけではなく、ここに挙げたのは出典で説明されている目安です。

口頭(通夜・葬儀の受付で)

V1 受付で香典を渡すとき(基本)

このたびはご愁傷様でございます。
心ばかりのものです、どうぞお供えください。

- ・「ご愁傷様でございます」の代わりに「心よりお悔やみ申し上げます」と言っても構いません。

V2 ご遺族に声をかけるとき(故人と親しかった場合)

あまりに急なお知らせで、今も言葉が見つかりません。
〇〇さんには、いつも温かく接していただきました。
心からお悔やみ申し上げます。少しでも休める時間がありますように。

- ・ 励ましの言葉ではなく、故人の思い出と体を気遣う言葉にしています。

V3 故人と面識がないとき(同僚・取引先のご家族の葬儀で)

〇〇さんと同じ職場の〇〇と申します。
このたびは、心よりお悔やみ申し上げます。
どうぞお力落としのございませうように。

- ・ 取引先の場合は「〇〇株式会社の〇〇と申します」と所属を名乗ると、ご遺族に関係が伝わります(弔電で所属を書くよう案内されているのと同じ考え方の、当サイトの提案)。

LINE・SNS

L1 親しい友人からLINEで訃報を受けたとき

連絡をくれてありがとうございます。
お母さんのこと、言葉が見つからないよ。心からお悔やみ申し上げます。
今は無理に返事をしなくて大丈夫。体を休めてね。

- ・ 当サイトの文例では、絵文字やスタンプは使っていません。

L2 訃報をあとから知ったとき(友人へ個別のメッセージで)

〇〇さん、お父様のことを今日知りました。
すぐに連絡できず、ごめんなさい。
心からお悔やみ申し上げます。
落ち着いたところに、もしよければ、お父様の話を聞かせてください。

- ・ 故人の思い出を共有するような言葉選びは、郵便局のネットショップのコラム(喪中見舞いの言葉選び)でも勧められています。
- ・ SNSの公開の投稿やコメント欄ではなく、個別のメッセージで送る形にしています(当サイトの提案)。

メール

E1 上司のご家族が亡くなったとき

件名:お悔やみ申し上げます(〇〇部 〇〇)

〇〇部長

ご尊父様のご逝去を伺い、大変驚いております。

心よりお悔やみ申し上げます。

急ぎの案件は〇〇さんと手分けして進めておりますので、職場のことはどうかご心配なさらないでください。

ご家族とのお時間を大切にしてください。

なお、このメールへのお返事はお気遣いなく。

〇〇部 〇〇

- 亡くなった方が上司の母なら「ご母堂様」、配偶者なら「ご主人様」「ご令室様」などに替えます(敬称は日本郵便の弔電のQ&Aより)。
- 業務の連絡が必要ときは、お悔やみとは別のメールにすると件目が混ざりません(当サイトの提案)。

E2 同僚のご家族が亡くなったとき

件名:〇〇です(お悔やみ)

〇〇さん

お母様のこと、〇〇課長から伺いました。急な知らせに、まだ驚いています。

心からお悔やみ申し上げます。

担当している仕事は私たちで引き継いでいます。今はご家族との時間を優先してください。

落ち着いてから、手伝えることがあれば声をかけてください。

返信は不要です。

〇〇

- 同僚あての文例では、親しみのある「お母様」を使っています。改まった文面にするなら「ご母堂様」に替えます。

メール(つづき)／香典を郵送するときに添える手紙

E3 友人のご家族(親)が亡くなったとき

件名:〇〇です

〇〇さん

お父様がお亡くなりになったと聞きました。

(思い出がある場合) 以前お宅に伺ったとき、優しく迎えてくださったことを覚えています。

心からお悔やみ申し上げます。

慌ただしい時期だと思うので、返信は気にしないでね。

買い物や子どもの送り迎えなど、私にできることがあれば声をかけてね。

〇〇

- 薄い字の「(思い出がある場合)」は説明書きです。思い出がなければ行ごと削除してください。

K1 現金書留に香典と一緒に入れる手紙

〇〇〇〇様

〇〇様のご逝去の知らせを受け、心よりお悔やみ申し上げます。

本来なら葬儀に伺ってお別れをしたかったのですが、どうしても都合がつかず、参列できませんでした。失礼をお許しください。

香典を同封いたしましたので、お供えいただけましたら幸いです。

ご家族の皆様もお疲れが出ませんよう、どうぞご自愛ください。

略式ながら、手紙でお悔やみをお伝えいたします。

令和〇年〇月〇日

〇〇〇〇

- 香典は、参列する知人・友人に託すか、手紙を添えて現金書留で送るよう日本郵便が案内しています。現金書留には手紙を同封できます。
- 「ご霊前に」とは書いていません。浄土真宗やプロテスタントでは「御霊前」を使わない、という説明があるためです。

手紙(お悔やみ状)

T1 葬儀に参列できなかったとき(友人の親が亡くなった場合)

〇〇〇〇様
ご尊父様がお亡くなりになったとの知らせを受け、ただ驚いております。
学生のころ、お宅に伺うたびに温かく迎えてくださったお姿が、今も目に浮かびます。
ご家族の皆様がどれほどお辛い思いをされているかと思うと、胸が痛みます。
本来ならすぐにでも伺うべきところ、遠方のため葬儀にも伺えず、失礼をお詫び申し上げます。
ご自身のお体も、どうぞいたわってください。
まずは手紙にて、心よりお悔やみ申し上げます。
令和〇年〇月〇日
〇〇〇〇

- 書き出しに頭語(拝啓など)や時候の挨拶は置いていません。日本郵便のお手紙文例集のお悔やみの手紙の文例も、訃報への驚きやお悔やみの言葉から書き出しています。

T2 訃報をあとから知ったとき(恩師のご家族へ)

〇〇〇〇様
〇〇先生が〇月にご逝去されたことを、先日になって知りました。
知らずに過ごしてしまい、お悔やみをお伝えするのがこれほど遅れましたこと、心からお詫び申し上げます。
在学中、進路に迷っていた私の相談に、親身に乗ってくださった先生のお姿を思い出しております。
ご家族の皆様には、先生のいない寂しさが続いていることと拝察いたします。
季節の変わり目ですので、どうかお体を大切になさってください。
謹んで哀悼の意を表します。
令和〇年〇月〇日
〇〇〇〇

- お悔やみが遅れたことへのお詫びを添える構成は、日本郵便のお手紙文例集「死亡通知への返事が遅れたことへのお詫び」にも見られます。
- 喪中はがきで訃報を知った場合は、喪中はがきのページにある喪中見舞い・寒中見舞いの文例も使えます。

弔電

C1 上司・取引先のご家族へ(会社として送る場合)

ご母堂様ご逝去の悲報に接し 社員一同 心を痛めております
ご生前のご厚情を偲び 謹んでお悔やみ申し上げます
ご遺族の皆様には どうぞお疲れが出ませんように
株式会社〇〇 代表取締役 〇〇〇〇 社員一同

- 会社や組織の担当者として参列する場合も、会社としてお悔やみを送るほうが丁寧と日本郵便は案内しています。名義は「〇〇社員一同」、代表者名、その両方などがあります。
- 亡くなった方が喪主の父なら「ご尊父様」、配偶者なら「ご主人様」「ご令室様」などに替えます。キリスト教式の場合は単に「〇〇様」とします。

C2 友人が亡くなり、ご家族(喪主)へ送る場合(宗教がわからないとき)

ご尊父様の突然の訃報に接し 信じられない思いであります
長年の友として いつも支えてもらったことを 深く感謝しております
残されたご家族を思い 心よりお悔やみ申し上げます
(仏式とわかっている場合) 心からご冥福をお祈りいたします
〇〇〇〇(故人の高校時代の友人)

- 宛先は喪主にし、喪主との関係で「ご尊父様」などと書きます。喪主がわからない場合は「故〇〇様ご遺族様」とします(日本郵便のQ&A)。
- 「冥福を祈る」「成仏」「往生」などは仏式で使われる言葉で、神道やキリスト教では使われないと説明されています。仏式とわかっている場合だけ、薄い字の行を加えてください。

敬称と出典

■ 亡くなった方の主な敬称(受取人から見た続柄)

父	ご尊父様、お父上様
母	ご母堂様、お母上様
夫／妻	ご主人様／ご令室様、ご令閨様
夫の父／夫の母	お舅様、お父上様／お姑様、お母上様
妻の父／妻の母	ご岳父様／ご丈母様、ご岳母様
兄弟／姉妹	ご令兄様、ご令弟様／ご令姉様、ご令妹様
息子／娘	ご子息様、ご令息様／ご息女様、ご令嬢様

キリスト教式の場合は、単に「〇〇様」とします(日本郵便 Webレタックスのマナー案内)。

■ 出典(いずれも2026年10月2日確認)

Webレタックスのページは日本郵便の弔電サービスの案内です。郵便局のネットショップ・郵便局のプリントサービスは日本郵便株式会社の運営で、どちらも商品販売サイト内の解説です。いずれも法令や公式のルールではありません。

- 日本郵便 お手紙文例集「冠婚葬祭の文例 死亡・葬儀 香典」
<https://www.post.japanpost.jp/navi/235.html>
- 日本郵便 お手紙文例集「冠婚葬祭の文例 死亡・葬儀 弔慰状」
<https://www.post.japanpost.jp/navi/239.html>
- 日本郵便 お手紙文例集「プライベートの文例 慰め・励まし 弔慰」
<https://www.post.japanpost.jp/navi/182.html>
- 日本郵便 お手紙文例集「冠婚葬祭の文例 死亡・葬儀 死亡通知への返事が遅れたことへのお詫び」
<https://www.post.japanpost.jp/navi/241.html>
- 日本郵便「手紙の基本形式」(お手紙文例集 手紙の豆知識)
<https://www.post.japanpost.jp/enjoy/culture/howto/navi/mame.knowledge.html>
- 日本郵便 Webレタックス「弔電・弔事のマナー(お悔やみ)Q&A」
<https://www.post.japanpost.jp/service/send/domestic/web/webletax/manner-choji.html>
- 日本郵便 Webレタックス「弔電(電報類似サービス)で葬儀・通夜にお悔やみを」
<https://www.post.japanpost.jp/service/send/domestic/web/webletax/funeral.html>
- 日本郵便 Webレタックス「お通夜・お葬式にWebレタックスで弔電を送ろう」
<https://www.post.japanpost.jp/service/send/domestic/web/webletax/sample/funeral.html>
- 日本郵便「レタックス文例集 ジャンル別一覧 弔慰」
<https://www.post.japanpost.jp/service/send/domestic/mail/letax/example/choui.html>
- 日本郵便 よくあるご質問「現金書留で現金と物品や手紙を同封して送ることはできますか？」
<https://www.post.japanpost.jp/question/643.html>
- 郵便局のネットショップ お役立ちコラム「香典・香典返しとは」
https://www.shop.post.japanpost.jp/shop/pages/gift_contents_37.aspx
- 郵便局のネットショップ お役立ちコラム「香典袋(不祝儀)のポイントはこちら！種類、書き方、お金の入れ方などをご紹介します」
https://www.shop.post.japanpost.jp/shop/pages/gift_contents_151.aspx
- 郵便局のネットショップ お役立ちコラム「喪中の方へ送る「喪中見舞い」とは？文例付きをご紹介します」
https://www.shop.post.japanpost.jp/shop/pages/gift_contents_112.aspx
- 郵便局のプリントサービス コラム「【文例でわかる】喪中の寒中見舞いマナー | 状況別の書き方と時期を徹底解説」(2026.09.15)
<https://print.shop.post.japanpost.jp/feature-mochu/article2000>
- 郵便局のプリントサービス コラム「【そのまま使える】家族葬の挨拶状の例文集 書き方から送り方まで郵便局が解説」(2026.09.16)
<https://print.shop.post.japanpost.jp/feature-aisatsu/article3001>
- 郵便局のプリントサービス「サイト運営会社」
<https://print.shop.post.japanpost.jp/company>
- 郵便局のネットショップ「サイト運営会社について」
<https://www.shop.post.japanpost.jp/shop/pages/operators.aspx>